

×でも
入るナ!

オオキンケイギクは 駆除して下さい!



■ オオキンケイギクとは

- 明治中期に、観賞用・緑化用として持ち込まれ定着しました。
- 5～7月頃に黄色い花を咲かせ、花びらの先端は不規則に4～5つに分かれています。草丈は50～70cm。葉は、細長い楕円形で両面に毛があります。
- 繁殖力が強く強健なため、日本に昔からある植物を駆逐してしまいます。

■ なぜ駆除しないといけないの?

- 繁殖力の強い外来植物が、在来種の脅威となっています。
- 河原などの草地に生えるツツザキヤマジノギク、カワラサイコ、カワラナデシコ等の希少な植物を守るため、各地で外来植物の駆除活動が行われています。



外来生物被害予防3原則 「入れない! 捨てない! 拡げない!」

詳しくは

外来生物法

